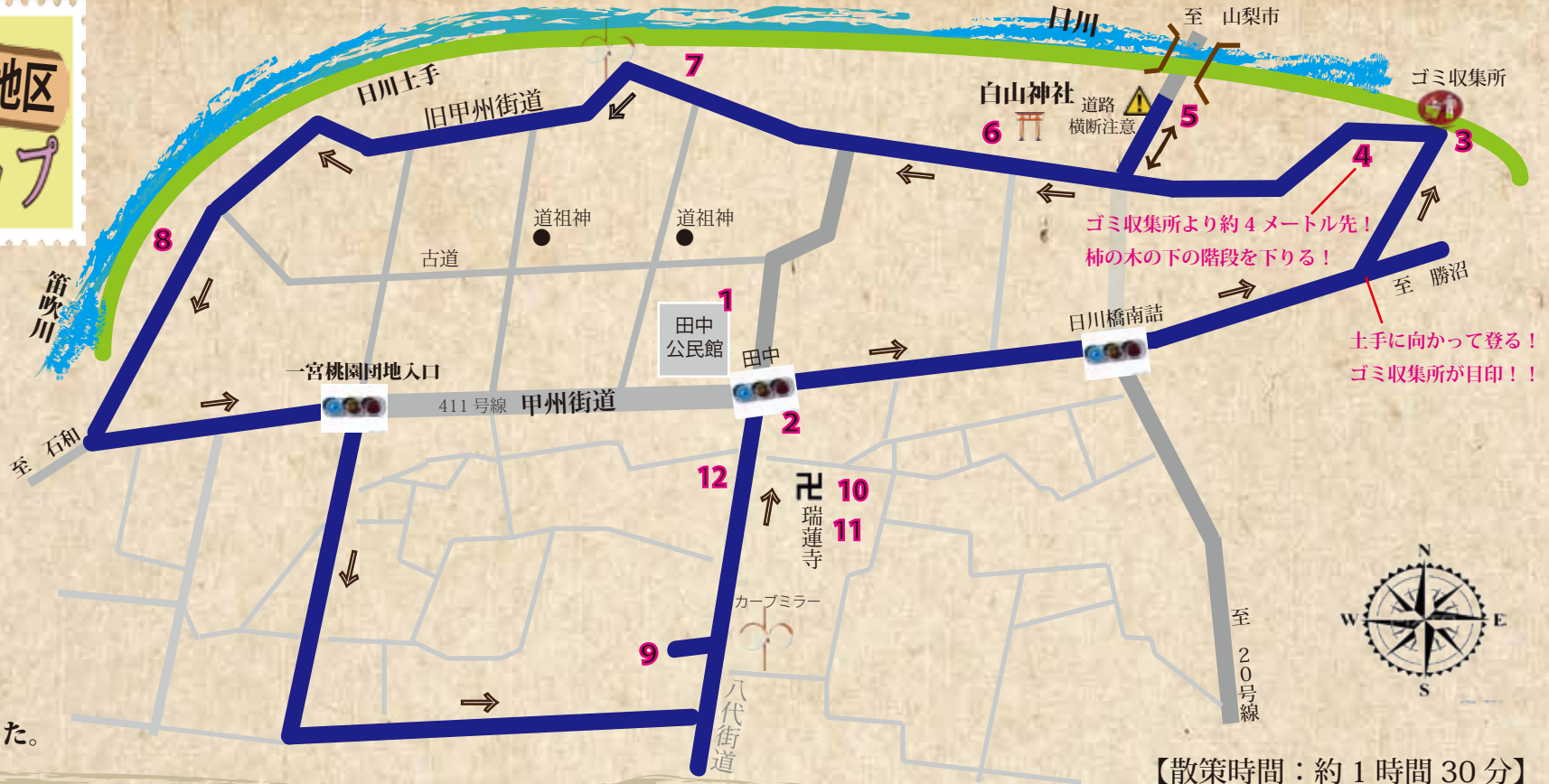
地域再発見 一宮町 田中地区 ウォーキングマップ



たなか
【田中】

2011年まで町内
最後の田んぼがあった。
江戸時代には田中の桃
（甲州八珍果の一つ）が有名だった。

【散策時間：約1時間30分】

1．Start: 田中公民館

明治40年の大水害以後の甲州街道(現・411号)を住民は、「甲州桃太郎街道」と命名して美化活動を行っている。
田中公民館（田中信号前）の駐車場（側面）を借りて…Start。

2．120ｋｍ　道路標識(どうろひょうしき)

田中信号付近に新宿より120ｋｍの道路標識がある。残念ながら文字は消えてしまった。信号から5mくらいの松の木の下にあるので探して見て！

3．日川橋(ひかわばし)

旧「日川橋」はこの辺りだったとの説あり。奥の森(白山神社旧田中の社)付近に日川の流れがあったが、明治40年の大水害で、現在の川の流れになった。土手の左側に目を移すと、街道の下り口がある。

4．街道入口(かいどういりぐち)

土手より下る旧甲州街道。往時もこのような道であったのであろうか。現在は、幅半間の横道と半間の側溝が、人家の間をぬうようになって延びている。

5．節婦之碑(せっぷのひ)

文政12年（1829年）建立。栗女は享保13年（1728年）の大水害の際、まず老母を助けた後、病める夫を背負い助ける途中に濁流にのまれていった。その貞節がたたえられ碑が建てられた。碑は、明治40年の大水害で流され、昭和19年に再建された。

6．白山神社(はくさんじんじゃ)

明治40年の大水害後に建立された社である。田中の氏神様である。境内に石尊大権・水天宮・天神宮等の石造物がある。

7．旧甲州街道(きゅうこうしゅうかいどう)と日川土手道

住宅の間口が一定だった住時の面影が残る旧街道筋。
（犬の散歩道としてにぎわうという）日川土手道に登り、日川筋を想像してみてほしい。

8．笛吹川(ふえふきがわ)

田中のはずれから見る笛吹橋。この河原一帯は、田中の水田地帯であった。今でも川の中に所有者の地番が残る。もちろん無税である。

9．南(みなみ)・北組道祖神(きたぐみどうそじん)

八代街道に面し、六地蔵・石尊さんとともに、今も地域の人々に厚く守られている。また、1月にはどんど焼きを行う。

10．瑞蓮寺(ずいれんじ)

元亀元9年(1570年)武田信玄公の命により建立される。
本尊は阿弥陀三尊で、武田家累代の持仏と伝えられる。境内には、信玄公ゆかりの「鶴・亀の松」や江戸時代安永年間頃からの信徒寄進の石臼の石畳、本県唯一の仏足石、他見るもの多数。

11．栗女の墓(くりじょのはか)

瑞蓮寺墓所内に栗女（田中の生まれ。享年28才）の墓もある。

12．六地蔵(ろくじぞう)

瑞蓮寺の石垣が終わった処（道の向かい側）に、北組の六地蔵がある。

発行者：一宮町を考える会　作成者：秋山美咲